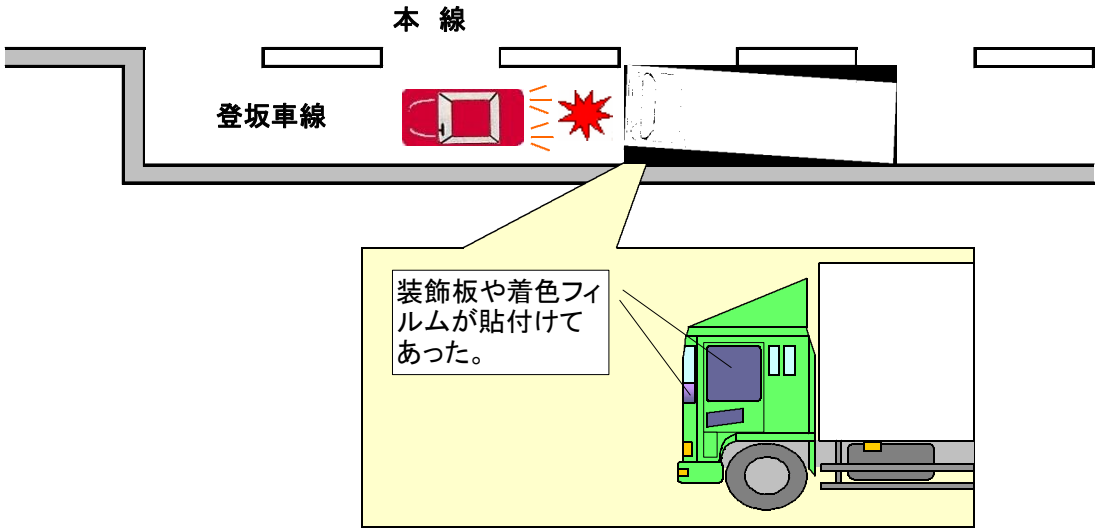
事故事例〔トラック　４〕

曜日・時間・天候	金曜日・２１時０７分・晴れ
場　　所	高速道
道路の状況	乾燥　幅員９．０ｍ
運　転　者	年齢４７歳　運転歴２３年
乗務開始～事故発生の乗務距離	２８６ km
損　　害	重傷者１名、軽傷者５名

〔事故概要〕

高速道を走行中、登坂車線から本線への車線変更に気をとられ、登坂車線上で車両故障のため停車していた乗用車の発見が遅れ追突し、乗用車に乗車していた６名に重軽傷を負わせた。

なお、当該トラックのフロントガラスには装飾板が装着され、運転者席側面ガラスにも着色フィルムが貼り付けられていた。また、運転者は、運転開始から４時間半の連続運転であった。



種別・業態	普通・貨物・大型トラック（冷蔵冷凍車）
最大積載量	７，１００kg
当時の積載量	５，２００kg
乗車定員	３名
当時の乗車人員	１名

【事故の推定原因】

- ○　脇見運転
- ○　過労状態による漫然運転

【事故の要因及び背景】

- ○　車線変更に気をとられて、前方の注意を怠ってしまった。
- ○　連続運転で過労状態であり、高速道に入ってから１時間程経って緊張がほぐれ、漫然運転となっていた。
- ○　夜間であり、運転者席のガラスに装飾板等が装着され、視界が非常に悪い状態になっていた。
- ○　故障車が登坂車線上に停車していた。

【再発防止対策】

- ○　車線変更時の基本動作の徹底
- ○　運行における休憩･休息の指示の徹底
- ○　過労運転が及ぼす生理的及び心理的影響と防止対策の指導徹底
- ○　不正改造防止の徹底と車両構造による死角についての指導
- ○　車両管理の徹底